

公益社団法人埼玉県臨床工学技士会

平成29年度事業報告

I. 公1事業

1. 臨床工学領域における安全対策及び学術研鑽に関する事業
(別紙学術部事業報告参照)
 - 1) セミナー、講習会等に関する事業
 - (1) 循環器セミナーの開催
(平成29年8月13日：参加人数79名)
 - (2) 血液浄化セミナーの開催
(平成29年10月1日：参加人数148名)
 - (3) 人工呼吸器安全対策セミナーの開催
(平成30年2月4日：参加人数354名)
 - (4) 臨床工学セミナーの開催(第3回実技セミナー)
(平成30年3月4日：参加人数22名)
 - 2) 研究等発表に関する事業
 - (1) 埼玉臨床工学会の開催
(平成29年6月4日：参加人数224名)
2. 臨床工学の普及啓発に関する事業(別紙特別事業報告参照)
 - 1) 県民公開講座の開催(平成29年11月19日：参加人数25名)
(医療講演、自動体外式除細動器(AED)の講習会)
3. 災害対策に関する事業(別紙医療安全事業報告参照)
 - 1) 県内及び隣接都県災害時の情報収集及び対策の構築
彩の国透析災害対策ネットワーク
災害対策講演会開催、災害時透析医療確保マニュアル検討
 - 2) 災害時緊急連絡網の整備(MCA無線の実地訓練：年4回)
 - 3) アンケート調査(県内医療施設)：次年度持ち越し
4. 図書・印刷物の発刊に関する事業(別紙広報部事業報告参照)
 - 1) 会誌の発行
Vol.35 平成30年2月9日発行 1450部
 - 2) 各セミナー、講演会等の案内発送
5. 広報及び調査研究に関する事業(別紙広報部事業報告参照)

- 1) SACE ホームページの運営：随時更新
- 2) 医療安全情報の提供：随時更新
- 3) 県内の医療施設に臨床工学領域の情報案内
- 4) 会員意識調査
- 5) その他

6. 関東地区臨床工学技士会との交流・連携に関する事業

関東一都六県の臨床工学技士会で関東臨床工学技士協議会を組織し、
平成 29 年 11 月 5 日 第 8 回関東臨床工学会（埼玉）の主催及び参加。

7. 会議

- 1) 平成 29 年度理事会（年 6 回開催）
第 1 回理事会 平成 29 年 4 月 20 日
第 2 回理事会 平成 29 年 7 月 13 日
第 3 回理事会 平成 29 年 9 月 7 日
第 4 回理事会 平成 29 年 11 月 14 日
第 5 回理事会 平成 30 年 1 月 30 日
第 6 回理事会 平成 30 年 3 月 8 日

第 1 回臨時理事会 平成 29 年 6 月 4 日（総会終了後）

- 2) 運営会議の開催（なし）
- 3) 各委員会会議の開催（各事業報告参照）

II. 他 1 事業

1. 定時総会の開催

- 1) 平成 29 年度定時総会（事業及び決算報告）の開催（6 月 4 日）

2. 関連団体との交流・連携に関する事業

- 1) 日本臨床工学技士会及び全国の臨床工学技士会との交流と連携
平成 29 年 5 月 20・21 日 日本臨床工学会(青森)に参加
- 2) 県内各医療団体との交流及び連携
平成 30 年 1 月 13 日 埼玉県看護協会新年懇話会出席

3. 臓器移植推進に関する事業

- 1) NPO 法人埼玉県腎臓病患者友の会への協力（別紙特別事業報告参照）
平成 29 年 5 月 7 日 第 1 回臓器移植推進連絡会 1 名参加

平成 29 年 9 月 7 日 第 2 回臓器移植推進連絡会 2 名参加
平成 29 年 10 月 1 日 臓器移植推進キャンペーン 5 名参加
平成 30 年 1 月 21 日 第 3 回臓器移植推進連絡会 2 名参加

4. 職業紹介及び育成に関する事業

- 1) 教育委員会・高等学校に対して臨床工学技士業務の紹介
平成 29 年 12 月 21 日 埼玉県立常盤高校にて講演会
- 2) 臨床工学技士資格取得の大学・専門学校進学のアドバイス

5. 相互福祉に関にする事業

- 1) 臨床工学技士賠償責任保険の加入促進

- 2) ワークライフバランス委員会

平成 29 年 4 月 8 日 第 1 回 WLB 委員会会議

平成 29 年 11 月 5 日 第 1 回関東甲信越 Y・ボードハチドリネットワーク会議

平成 29 年 12 月 23 日 第 2 回 WLB 委員会会議

平成 30 年 3 月 31 日 第 2 回関東甲信越 Y・ボードハチドリネットワーク会議

(1) 育成事業 (なし)

(2) 推進事業 臓器移植キャンペーン参加

(3) 親睦交流会の開催

平成 29 年 10 月 22 日 親睦バーベキュー : 29 名参加

平成 29 年 12 月 3 日 ゴルフ : 24 名参加

- 3) 健康長寿委員会

会誌を利用して、会員へ健康長寿に関する情報提供を開始

6. その他

- 1) 理事及び監事選出実施